

令和6年度秋田県青少年健全育成審議会 第1回環境浄化部会・会議録

(記録：加藤)

開催日時	令和6年10月9日（水曜日）午後1時30分～午後3時00分							
開催場所	秋田県庁議会棟2階 特別会議室							
出席者 (○印)	石川	伊藤	笈川	大石	大島	草薨	熊谷	出席者合計
	○	×	×	○	×	×	○	6人
	佐佐木	沢屋	高橋					出席率
	○	○	○					60.0%

	区 分	図 書	D V D	映 画	がん具	合 計
	諮 問 数 優 良	7				7
	答 申 数 優 良	5				5

進 行	内 容
事務局	<p>(13:30)</p> <p>令和6年度秋田県青少年健全育成審議会 第1回環境浄化部会を開催します。</p> <p>本日の会議は部会委員10名中、6名の出席があり、過半数を超えておりますので、会議が成立していることをご報告します。</p> <p>この部会の会議要旨については、後日作成する議事概要で原則公表することにしてありますが、個別の委員の名前は非公開としますので、よろしくお願いします。</p> <p>本日の会議で調査審議していただく事項は優良図書の推奨についてですが、この事項に係る部会の議決は、審議会運営要綱に基づき審議会の議決になることをご報告いたします。</p> <p>これからの会議の進行は、部会長にお願いいたします。</p>
部会長	<p>それでは、審議に入ります。</p> <p>優良図書の推奨について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>私の方から、配付しております資料6―1から資料6―7「推奨図書等審査表集計表」に基づき、優良図書の推奨についてご説明申し上げます。</p> <p>県から諮問のある優良図書の推奨に係るものは、書籍7冊となっております。</p> <p>書籍の推薦者は7冊ともに（推薦者の所属出版社）の（推薦者氏名）氏です。</p> <p>それでは、優良図書の推奨に係る審査方法等についてご説明します。</p> <p>対象となる図書は、あらかじめ各委員に配付し、「優良図書等の推奨の事務取扱要領」に基づき、事前に審査を行っていただいております。</p> <p>その各委員による審査結果について取りまとめたものが資料6―1から資料6―7になります。</p> <p>なお、本日欠席されている4名の委員の方からも審査していただいておりますの</p>

	<p>で、その結果も記載しております。</p> <p>この集計表に基づき、優良図書の推奨に係る審議をしていただき、推奨の可否を決議していただきたいと思います。</p> <p>審議の結果、優良図書となった場合は、県内各小中学校、高等学校、特別支援学校、図書館等に通知するほか、県の公式ホームページ「美の国あきたネット」、あきたの結婚・子育て応援情報Webサイト「いっしょにねっと。」へ掲載し周知します。</p> <p>事務局からの説明は以上となります。</p>
部会長	<p>それでは、優良図書の推奨に係る審議に入りたいと思います。</p> <p>なお、推薦や審査方法等、推奨全体に関するご意見を伺う時間は別途設けますので、審議では各書籍へのご意見や審査基準の適否等についてお話をくださるようお願いいたします。</p> <p>本日は7冊の審議を行いますが、7冊中3冊は委員全員から総合意見「可」をいただいております、ほか4冊は数名の委員から「否」又は「保留」のご意見をいただいております。</p> <p>「否」又は「保留」の意見をいただいている書籍の審議に重点を置くため、初めに全員「可」である3冊をまとめて審議し、その後、残りの書籍を1冊ずつ審議していきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
部会長	<p>それでは、資料6―1「アマゾンのふしぎな森へようこそ！ 先住民の声に耳をすませば」、資料6―2「スマイルサッカー」、資料6―3「せんそうがおわるまで、あと2分」の書籍について、こちらは総合意見が全員「可」となっていますが、委員の皆さんにご意見等を伺いたいと思います。</p> <p>A委員はいかがですか。</p>
A委員	<p>この3冊について、私個人としてはいずれも推奨に資するものだと思います。</p> <p>資料6―1の本は環境問題にも触れていますし、学校図書としては非常にいいのかなと感じました。ほか2冊は絵本ですが、表現が分かりやすいながらも、子どもたちに考えさせるような内容だと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。B委員はいかがですか。</p>
B委員	<p>仕事柄、子どもの立場に立って読ませていただきました。</p> <p>資料6―2と資料6―3の本に関しては、まず挿絵入りというのがよかったと思います。資料6―3の本は教科書等ではなかなか知識として触れることができない戦争</p>

	<p>関係のお話を扱っていますし、資料6―2の本は多様性の時代である今、様々な人の環境・状態を認めるのが正しい生き方だ、ということが分かるといった意味で、非常によかったと思います。</p> <p>また、仕事上、「外国の文化を知る」という大きな枠組みを持って、日々、子どもたちと接していますが、資料6―1の本は、私も想像できない世界があり、やはり人の生き方というのは環境に合わせて工夫しながら、それぞれが強く生きているんだという思いが伝わるということで、「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。2名の委員からご意見いただきましたが、他にご意見等ある方はいらっしゃいますか、</p>
C委員	<p>この3冊に限ったことではないのですが、1つ質問させてください。本日審議する7冊はすべて出版社からの推薦ということですが、同一の出版社からの複数の推薦は受け付けることが可能なのでしょうか。</p>
事務局	<p>当県の「優良図書等の推奨の事務取扱要領」では、推薦者要件や上限数を設けておりませんので、現在の要領上は、推薦いただいた場合すべて受付することになります。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。こちらの件については、審議終了後、別途、意見交換の時間を設けますのでよろしくお願いします。</p> <p>他にご意見等のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>それでは、意見が出尽くしたようですので、決議に入りたいと思います。</p> <p>この書籍3冊について、優良図書として推奨すべきものと認めることにしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>異議がございませんので、この書籍3冊は優良図書として推奨すべきものと認めることで議決します。</p>
部会長	<p>続いて、資料6―4「おしえてジェンダー！『女の子だから』のない世界へ」の書籍について、こちらは総合意見「否」のご意見もございます。</p> <p>まずは「否」とされた委員にご意見等を伺いたいと思います。D委員、お願いします。</p>

D委員	<p>ジェンダーの啓発や、女の子たちが学んだり納得したりすることを目的としている本だろうと推察しましたが、これを男の子が読んでどう思うだろうかと考えました。</p> <p>実際は男の子なんだけれども心は女の子という子もいますので、そういう子が読んだときに一体どう思うだろうかと考えた時、これを広く推奨するのは少し不適當ではないかと思い、「否」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。C委員、お願いします。</p>
C委員	<p>私は正直迷ったのですが「否」としました。審査基準の2の（1）のAに該当するのではないかと考え、推奨の対象から除くものと判断したためです。この本は入門書や学習のための参考書のようなものではないかなと思いました。</p> <p>内容については、D委員もお話されていましたが、考え方や捉え方によっては課題があるかもしれません。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。「否」とされた2名の委員のご意見をお聞きしましたが、「可」とされた委員の方からご意見等ございますか。E委員はいかがですか。</p>
E委員	<p>年齢を重ねるごとに、こうした内容は様々なニュース等から情報が入ってくるのですが、そうしたことを考えると、これは男性が読んでもよい本なのではないかなと考えていました。自分自身、知らない内容が書かれていたこともあり、私は「可」としました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。B委員はいかがですか。</p>
B委員	<p>「否」とされたお二人のお話には、非常に納得感を感じました。</p> <p>私はこの本を読んだ時、前の勤務校でトランスジェンダーの子がいたのですが、周りの子が騒ぐことなく理解して過ごしていたのを見て、驚いたことを思い出していました。小学生には漢字の表記や内容が難しい部分もありますが、中高生がこれから生きていく上で、世の中の他者を理解していくという点では、「可」ではないかなと思いました。</p> <p>本も教育も、全員が納得するものはなかなかないと思いますが、これを読んで納得する子はいるのでないかという判断での「可」でした。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。A委員、お願いします。</p>

A委員	<p>私は総合意見を「可」としていて、各審査基準についても多数「可」としてありますが、この本を読んだ時に少し引っかかった部分があったのは事実です。</p> <p>ただ、皆さんがお話されている通り、実際こうしたジェンダー問題に対して悩んでいる子もいますし、今の子どもたちは意外とすんなり受け入れている状況が多いかなと感じます。B委員がお話された通り、やはり全員が納得するものはなかなかないと思いますし、多くの人の目に触れることで、これも1つの在り方なのかなと理解してもらえることにつながるのではと思います。</p> <p>また挿絵が多用されてるので、子どもたちにとっては分かりやすいかなと思いながら読ませていただきました。</p>
部会長	<p>まずは「否」とされたお二人のご意見を確認させていただきますが、D委員は「男の子の立場で考えると少し偏った見方に感じてしまうのではないか」ということを心配してのご意見でした。C委員からは「実用書等にもこうした本がたくさんあり、あえて県として推奨する意義はあるのか」という部分が引っかかるというご意見でした。</p> <p>多様性については様々な考え方がありますし、全員が納得するものはなかなかありませんが、あえて県として推奨すべきものかどうかという観点でもう少し考えてみるとよいのかなと思います。</p> <p>書籍自体が悪いということでは決してないのですが、この部会で審議して、ぜひ子どもたちに手に取って読んでもらいたいものなのかがどうか、条例内の優良図書に関する規定「その内容が特に優れているもの」の捉え方だと私は考えています。その観点で、いま1度皆さんに考えていただきたいと思います。</p> <p>個人的には、全員一致で推奨できるものを推奨していきたいと考えてますが、B委員はいかがでしょうか。</p>
B委員	<p>部会長のお話にあった「推奨」という言葉について、確かにその通りだと思いました。本としては少なくとも何人かは同意する児童や生徒がいるのではないかなと思いますが、推奨ということを考えると「否」でもよいのかなとは思いますが、</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>決議を取るのは非常に難しいことですが、個人的には反対意見がある以上、やはり推奨することは難しいのではないかなと考えております。</p> <p>おそらく皆さんご意見はこれ以上変わらないと思いますので、決議に入ってもよろしいでしょうか。推奨すべきものであるのか、今回は見送った方がよいのか、皆さんいかがでしょうか。</p>

E 委員	以前の部会でもやはり何点か否決されたものはありましたし、必ず可決しないといけないということはないので、「否」でもよいかと思います。
部会長	ありがとうございます。それでは、この書籍については推奨すべきものではないということで議決してよろしいでしょうか。
各委員	～異議なし～
部会長	それでは、この書籍は推奨すべきものではないということで議決します。
部会長	<p>続いて、資料6―5「おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと」の書籍について、審議いただきたいと思います。</p> <p>まずは、総合意見を「保留」とされたC委員にご意見等を伺いたいと思います。</p>
C 委員	<p>内容は非常によく書かれていて、体験をもとに後世に伝えたいという部分はすごくいいと思います。ただ、私たち大人が当時の歴史や客観的事実を知っているのか、教えられているのかということが気になりました。</p> <p>本の中で、当時のソ連が一気に満州に流れ込んできた時、日本の兵隊さんが最初に逃げてしまい、多くの人がとり残されたという内容がありました。これは事実だとは思いますが、今でも当時のことをきちんと客観的に精算できていないのに、それを子どもたちに伝えられるのかな、と心配になりました。</p> <p>ドイツがソ連から侵攻されて、最後の戦いがあった時のことを、ドイツ国軍は市民を守るために自分の命を省みず戦った、悪いのはナチスであったと精算しているわけですね。そうした物語の帰結があり、そうした歴史の共通認識があって、初めてきちんと伝えることができると思います。</p> <p>日本はしっかりとした帰結もなく、戦後が始まってしまったように感じています。自分の亡くなった父親は、兵隊として満州にいて、帰ってきたのですが、父親からこのようなことは一切聞いたことがなかったので、どのように判断すればいいのか、どのように子どもたちに教えればいいのかと悩んでしまいます。</p> <p>そのため、個人的にこれを推奨して子どもたちに読んでもらって伝えていく、という整理にはならなかったので「保留」としました。よい本だとは思いますが、他の委員の皆さんの判断にお任せしたいという考えです。</p>
部会長	ありがとうございました。D委員はいかがですか。

D委員	<p>この本は聞き書きによって書かれたと説明もついていましたので、あくまでこの方にとってはこの内容のように捉えられたんだという、そういった観点の作品なのだろうと感じていました。私の総合意見としては、この方にとっては戦争はこういうものだったという観点で考えての「可」でした。</p> <p>ただ、作品としてどうなのかという観点で考えると、あえて「可」としなくてもよいのかなとも思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。A委員はいかがですか。</p>
A委員	<p>戦争の話というのは色々なものがあると思うのですが、純粹に子どもの視点で、戦争を全く知らない子どもたちが読むことを考えれば、これは原さんのインタビューをまとめられた本で、こうした戦争もあったんだなと読めるのではないかと思います。</p> <p>読んでいて少し苦しくなるような表現もありましたし、私自身も戦争というものを全く知りませんけれども、非常に愚かであるということはすごく感じることができる作品かなと思いました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。B委員、いかがですか。</p>
B委員	<p>歴史上の事実かどうかは私も分かりませんが、小学校の道徳科や学級活動の場で、読んでどう感じたかを話し合ったり、自分の命について考えたりといったように、話題提供や題材として使えるかなと思いました。そうした観点で考えると、推奨できるかなと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。E委員、お願いします。</p>
E委員	<p>私も子どもの頃、当時の悲惨な話を父親や親戚から聞いていました。この本に書かれてることがすべて100%事実だとは思いませんが、確かに満州ではこのようなことがあったと聞いています。</p> <p>日本では、原爆や沖縄戦というのは日本人が犠牲になったとして色々と話がありますが、満州などでは逆に日本軍がこのようなことをやっていたということもあるので、この本や内容がだめだということはないと思います。</p> <p>また現代の子どもたちはこうした話を親から聞いていない、親も知らないの子どもに話していないというケースが多いですが、こうした話は語り継ぐべきではないかと思いますので、この本は推奨するに値するのではないかと思います。</p>

部会長	<p>ありがとうございました。全員からご意見を伺いましたが、ご意見を聞いて、ご質問やご意見等ある方はいらっしゃいますか。</p> <p>C委員は保留ということですが、いかがですか。</p>
C委員	<p>内容はその通りだと思いますし、子どもたちに話しても大丈夫だとは思いますが、自分自身としては、当時のことを正確に伝える場所がもっとほしいなと感じていて、終戦間際から戦後にかけての日本の対応が、今も様々尾を引いて、根本的な部分で解決できずにいるような気がしています。子どもたちに教えるのであれば、それぞれの戦いについてどうしてそうなったのかを教えたり、一連の流れを通じてこうしたことはあってはならないと教えたり、伝えたりできるとよりよいのかなと思います。</p> <p>ただ、この本自体は「こういう戦いはだめなんだよ。」ということ、子どもたちや大人に伝えるよい本だと思いますので、推奨に反対はありません。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。それでは、ご意見、ご質問等が出尽くしたようですので、決議に入りたいと思います。</p> <p>ご意見等ございましたが、この書籍を優良図書として推奨すべきものと認めることにしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	～異議なし～
部会長	それでは、この書籍は推奨すべきものと認めるということで決議します。
部会長	<p>続いて、資料6―6「フツウと違う少数派のキミへ ニューロダイバーシティのすすめ」の書籍について、審議いただきたいと思います。</p> <p>こちらは総合意見「否」のご意見もございますので、まずは「否」とされた委員にご意見等を伺いたいと思います。C委員、お願いします。</p>
C委員	<p>これを「否」とした理由は資料6―4の本と同じで、こうした内容を教える参考書や見本書のようなものではないかな、と判断したためです。</p> <p>読んでいてすごく分かりやすく、内容もよいと思いますが、推奨の対象から除くものと判断したため「否」としました。</p>
部会長	<p>参考書や入門書に当たるのではないかというご指摘がありましたが、内容は悪いものではないというご意見でした。</p> <p>他の委員の方にもご意見等伺いたいと思います。A委員、いかがでしょうか。</p>

A 委員	<p>内容ですが、漫画や具体的な例が書かれていて、非常に読みやすいと感じました。</p> <p>また、実際に小中学校で不登校生徒が大変増えてますが、こうした本によって不登校生徒への理解やお互いの相互理解が深まることもあるのではないかなと思いました。</p> <p>少数派と書かれて手に取りやすいかどうかは分かりませんが、障害やADHD、ASDといったことに関して詳細なことが書かれていて、なおかつマイノリティという部分もすごくよく書かれているので、マイノリティ側の立場の話やそれに対する理解を進めていくための1つの本としては、非常によいのではないかと思います。</p> <p>先の審議でもお話がありましたが、やはり100人読んで100人全員が納得するというものはないと思いますので、理解を深めるための1つのきっかけとして、こういった本が推奨されてもいいのかな、と個人的には思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。D委員、いかがですか。</p>
D 委員	<p>知らなかったことを知るという意味では入門書なのかもしれませんが、読み物としても工夫されていて、子どもが楽しみながら、気付きを得たり納得したりして読めるという点では、十分推奨に資するものではないかなと思います。</p> <p>先ほどA委員からもお話がありましたが、色々な部分でお互いを知るという意味でも、よい本だと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。E委員はいかがですか。</p>
E 委員	<p>少し前であれば、少し変わった子だなと思われた子のことを扱っていますが、私自身、2～30年前にこういった特性があるのだと知ったぐらいでした。学校の先生等はご存じだったと思いますが、多くの人は分らなかったことなのではと思います。</p> <p>また、様々な障害の中でもこのように細分化されたものがあるのだと知り、読んでいて私も改めて勉強になりました。これは、子どもだけではなく大人にとっても勉強になると思いますので、よい本だと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。B委員、いかがですか。</p>
B 委員	<p>実は今回読んだ中で1番感銘を受けた本でした。該当する児童が多く的小学校に多数おります。少数派と書いてありますが、意外と多く、その子たちが自分のことも分らないで、「なぜ僕はこうなんだろう。私はこうなんだろう。」と悩んでいます。</p> <p>小学生には少し難しい部分もあるかと思いますが、その子たちにこの本を提示して</p>

	<p>中高生になって読んだ時、自分の進む道や考え方のヒントはこうして出てくるかもしれないと気付かせるような、非常に有効な本だと思いました。</p> <p>実は本校の職員室で他の先生方にも回してみたのですが、とても参考になるという声や「あの子にはこういった考えで接してみればいい。」といった話が出ました。また、親が読んでも非常に参考になると思います。</p> <p>余談ですが、本校でこれを回した時、本の最後でおすすめされている、小学生にも分かりやすくニューロダイバーシティを解説している本も推薦したいくらいだね、という話が出るくらい、読み込んだ本でした。</p> <p>私は、この本は非常に推奨に値すると思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。D委員からは入門書という捉え方もあるけれども、これを読み物として捉えることもできるという意見がありました。</p> <p>C委員、いかがでしょうか。</p>
C委員	<p>内容はとてもよいと思いますし、審査基準における判断に疑問があつての「否」でしたので、皆さんが実用書の類いではないというご判断であれば、私も異論はありません。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>内容については、皆さん特に異議がないということだったかと思います。</p> <p>それでは、皆さんのご意見をもとに決議に入りたいと思います。ご意見等もございましたが、この書籍を優良図書として推奨すべきものと認めることにしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>それでは、この書籍は推奨すべきものと認めるということで決議します。</p>
部会長	<p>最後に、資料6ー7「私は13歳、今日売られる。ネパール・性産業の闇から助けを求める少女たち」の書籍について、審議いただきたいと思います。</p> <p>こちらも総合意見「否」のご意見がございますので、まずは「否」とされた委員にご意見等を伺いたいと思います。C委員、お願いします。</p>
C委員	<p>事前の審査表にも書かせていただいたとおり、作者渾身のルポかと思います。</p> <p>内容もすごくよく調べて、実態はこうなのだと思いますが、これを推奨図書とし</p>

	<p>て、例えば学校の図書室に置いてもいいのだろうかと少し心配になりました。</p> <p>推奨の対象は小学生も含みますよね。そうすると学校現場では、小学生も中学生も読むということで、その子どもたちがこの内容をちゃんと理解できるのかという点が心配です。</p> <p>また、ネパールはそこまで貧しい国なのか、インドはそれほど悪い国なのか等も含めて、様々な心配をしていました。</p> <p>渾身のルポだとは思いますが、自分の仕事上の立場から、子どもに読ませるのは少し心配だなと思ひまして、あえて推奨するのはどうなのかと考え、「否」とした次第です。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。それでは、B委員からご意見を伺いたいと思います。</p>
B委員	<p>事前審査で本を読んでいた際、「推奨」ということが少し頭から飛んでしまっていて、いい本かどうかという観点で審査してしまっていたことを、C委員のお話を聞いて振り返っていました。</p> <p>この本を読んで、こういう世界があることを大人の私自身も初めて知りましたし、各国の取組に対する自国の出遅れを非常に感じていて、不信感のようなものは確かに湧き上がっておりました。内容は非常に知るべきことで、我々も考えさせられ、これから何ができるのか、やらなければいけない心情は持つべきだという考えを持ったところです。</p> <p>ただ、C委員のお話をお聞きして、推奨という観点では、小学校の図書室に置いて児童へ推奨図書として薦められるものではないなと感じました。</p> <p>そのため、私もC委員と同じく、「否」という意見に変えさせていただければありがたいです。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。D委員、いかがでしょうか。</p>
D委員	<p>発達段階ということを考えるのであれば、小学校に置くのはやはり抵抗があるのかなと思います。高校にはむしろ置きたい本ではあるのですが、やはり小中高全ての図書室に置くというのは抵抗があるのかなと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。E委員、いかがでしょうか。</p>
E委員	<p>こうした人身売買が世界で行われているということは、重々承知しているのですが、13歳というのには少し驚きました。また、ネパールに関わらず、様々な国で似た</p>

	<p>ようなことが実際に起きていることは確かです。</p> <p>ただ、これを小中学校に置くとなると、小学校はもちろんですが、中学校でも少し刺激が強いと思います。高校生以上であれば置いてもよいのではないかなというところで、推奨の可否については今少し悩んでおります。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。A委員はいかがでしょうか。</p>
A委員	<p>すごく衝撃的なタイトルだと思っていました。私には高校3年生の娘がおりまして、本を読むことが好きなので何冊か読ませた本があるのですが、最初に手に取ったのがこの本でした。</p> <p>こうした事実を知るとはすごく大事なんだな、と娘本人も話していましたし、私自身も総合意見は「可」にしていますが、非常に内容がセンセーショナルなので、正直、小学校に置くのは心配だなと考えていました。</p> <p>中学生の息子もいるのですが、中学生でも少し不安な感じはします。高校生の娘に関しては、高校生に対してこうした内容は問題ないという雰囲気でした。</p> <p>このような性産業というものがあるという事実を知ること、自分たちに何ができるのかを考えることは大事な観点の1つかなと個人的には思いましたが、県として推奨するということについては、私も少し引っかかることがあります。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。都道府県によっては対象年齢ごとに優良図書を分類して、子どもたちに推奨しているところもあるのですが、秋田県はまだそこまでやっていないんですよね。カテゴリーに分けてという形は、まだ要領等の中でも謳われていませんし、一括して青少年に提示する場合に推奨できるのかどうか、という観点で皆さんから多くのご意見が出ました。</p> <p>それでは、ほかにご意見等や補足等ございませんか。</p> <p>ないようですので、決議に入りたいと思います。</p> <p>今の皆さんからのお話では、この書籍は優良図書として推奨すべきものではないというご意見がほとんどでしたが、推奨すべきものと認めないということによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>それでは、この書籍を推奨すべきものと認めないということで決議します。</p> <p>以上で、予定していた7冊の審議及び決議が終了しました。皆さん、ありがとうございました。非常に難しい審議でございました。</p>

	<p>それでは、繰り返しになりますが、「アマゾンのふしぎな森へようこそ！先住民の声に耳をすませば」、「スマイルサッカー」、「せんそうがおわるまで、あと2分」、「おとうとのねじまきパン ずっとむかし、満州という国であったこと」、「フツウと違う少数派のキミへ ニューロダイバーシティのすすめ」の5冊を優良図書として推奨すべきものと認めるということで議決してよろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
部会長	<p>それでは、そのように議決いたします。</p> <p>この他、皆さんからご意見等ございますか。ないようでしたら、事務局へお返しいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>答申をいただいた優良図書の推奨については、11月上旬をめどに告示し、関係課所に周知したいと考えております。</p> <p>本日の優良図書等に係る審議は全て終了しましたので、次に次第3のその他に入りたいと思います。この時間は、推奨全体に関するご意見、ご質問等を伺う時間とさせていただきますと考えていますが、先ほどC委員からお話のあった推薦の申出方法について、まずは事務局よりお話させていただいてよろしいでしょうか。</p>
C委員	はい。
事務局	<p>当県の「優良図書等の推奨の事務取扱要領」には申出の上限数や推薦者要件、例えば自薦や他薦の別、出版元からの推薦は認めない等の要件は定めておりません。そのため、現状では、出版元もしくは同一人物から複数の推薦申出があった場合は、受付して、審査を審議会に委ねることになります。</p> <p>また、他県の状況ですが、令和2年度末に福島県で実施した調査によると、全国的に優良図書の推薦に関して上限数を設けている都道府県はございませんでした。</p> <p>以前、福島県では、年に数件、同一人物から推薦が届くというような状況があったとお聞きしていますが、それも全て審査されているとのことでした。</p> <p>また、そうした推薦申出が頻繁に続くようであれば、上限数等について検討していかなければならないと考えているとのことでしたが、現在のところは、そうした取り決めは特段設けていないと伺っております。</p> <p>今後、東北・北海道の条例担当者会議がございまして、他県の状況等を踏まえて、様々な事項を検討していきたいと各県が声を揃えている状況ではありますが、秋田県</p>

	<p>としてそうした取り決め、審査基準を改めて設けることには何ら制限はございませんので、委員の皆様からご意見等をお伺いして、検討していくことは可能です。</p>
部会長	<p>C委員、いかがですか。</p>
C委員	<p>お調べいただき、ありがとうございます。全国的に制限している都道府県はないという状況であれば、それに倣うしかないのかなと思います。</p>
部会長	<p>私も少し調べてみたのですが、他県で推奨している図書は、やはり複数の出版社の本が混ざっていて、1つの出版社の本に特化して推奨しているところは見かけませんでした。</p> <p>今年度の秋田県の推奨図書一覧では、1つの出版社の本が連続して並ぶ形になりますよね。他県では出版社も複数混在している中、秋田県では今回1つの出版社の本が強く推奨される形となることに、私も少し抵抗があります。</p> <p>石川委員はいかがですか。</p>
E委員	<p>今までは、今年度ほど多くの本を審議していませんでした。年に多くて5冊ほど、委員の方や図書館経由から推薦があったものを審議していたと記憶しています。</p> <p>また、以前は部会が年に3回開催されていましてので、1度の部会でそこまで数多く審議することはなかったのですが、今後、1度の部会で多くの冊数を審議しなければならないことになると、審議時間の調整等、少し負担になってしまうのかなと感じます。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他県だと県立図書館等で1次審査のような形で審査され、その時点である程度先決されているパターンもあるようです。今回、秋田県でも1冊ほど県立図書館の秋田県子ども読書支援センターから推薦いただいた本がありますが、これは昨年度の部会で、ここ数年、秋田県にゆかりのある本が少ないという話になり、先のセンターへ声を掛けて推薦いただいたものでした。</p> <p>個人的には、秋田県で審議するものは、やはり秋田県らしさがもう少しあってもよいのかなと考えているところです。秋田県の青少年に特に読ませたいというのであればそれはよいのですが、同一の出版社から1度に数多くの推薦があるというのは少し抵抗感がありますので、上限数もありますが、その他の点でも何か要件を設けることができないのかなと思います。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。参考ですが、青森県では、青森県を題材とした内容のものや、著者等が青森県出身者であるものなど、青森県に関連を有するものに限って推奨を行っています。ただ、青森県に関連を有するものであるということが大前提ですので、やはり推薦の申出件数が少ないというお話を伺っています。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。C委員、どうぞ。</p>
C委員	<p>同一の出版社から10冊以上の推薦があつて、本日は2冊ほど否決されましたが、例えば推薦のあつたもの全てが可決されて優良図書として推奨されるとなると、特定の出版社の回し者と思われてしまうだろうな、と思い、そこを危惧しての質問でした。</p> <p>今回推薦のあつた本はどれもいい本ですが、県の優良図書というのはいわゆる県のお墨付きの推奨図書ということで、それを出版社が直接、1度に多くの本を推薦して、審議会ですべて審議しなければならないということには少し抵抗を感じます。また、これが今後頻繁にされるとなると困るな、と正直感じました。</p>
事務局	<p>事務局としても、その点は大いに課題に感じているところで、今後どのような要件や基準を設けるべきか、他県の状況等を踏まえながら検討していきたいと思っています。いざ要件や基準を設けたとしても、また別のルートから推薦が届く場合もあるかもしれないので、その点も含めて、検討していき、第2回部会にて事務局からある程度の道筋を皆様にお示しできたらと考えております。</p> <p>その際は、またご意見等をお伺いできればと思いますので、このことについては、事務局で持ち帰りの上、検討させていただくということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>はい、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>他にご意見等ございませんか。</p> <p>ないようですので、最後に事務局からご連絡させていただきます。</p> <p>次回の環境浄化部会は11月15日の開催を予定しております。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それではこれもちまして、令和6年度秋田県青少年健全育成審議会 第1回環境浄化部会を終了いたします。本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。</p>